

1. 調査報告概要表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年1月7日

【評価実施概要】

事業所番号	2775502699
法人名	社会福祉法人 登守会
事業所名	グループホーム穴太のせせらぎ
所在地	八尾市宮町3丁目4番52号 (電話) 072-929-0223

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年12月14日

【情報提供票より】(平成 年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年11月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21人	常勤	8人, 非常勤 13人, 常勤換算 17.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	階 ~	階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円) ③			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④ (126,000円)	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,700円			

(4) 利用者の概要 (平成 年 月 日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	6名	要介護2	6名		
要介護3	1名	要介護4	4名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 79.35歳	最低	56歳	最高	89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 和佑会 西村クリニック
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地元出身の方が開設した社会福祉法人が運営するグループホームで、利用者及び地元の人々にも安心感を与えています。「心寄り添う暮らしを目指します」「心穏やかに生活できる環境を創造します」「心安らぐ信頼のホームを実現します」を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の外部評価で示された事項について改善が進み、全職員による全体会議を定例化し、預かり金の金銭出納帳に家族の確認の署名を貰うようになりました。利用者の排泄の自立化に向けての支援を、複数の担当者を決め会議で進捗を確認しながら進めています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、管理者と職員で話し合い、意見交換をしながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は八尾市職員、地域の代表、家族、利用者の参加のもとで、3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、行事報告を説明し、職員の特記的な取り組みとして、利用者の個別ケアや排泄の自立化支援等について報告しています。地域の代表からは、地域との交流をより深める方法について具体的な提案が出されています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月利用者の生活ぶりや体調について職員手書きの手紙を家族に送付しています。前回外部評価で示された金銭出納帳については定期的に家族の署名を貰っています。家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族の希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見を表せる機会を設けています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 母体法人の代表者やホームの施設長はこの地域の出身者で、地域との交流や関わりは深くなっています。隣接する高齢者住宅の住民とは双方の建物の間にある庭園でのふれあいやホームの行事で交流を深めています。地域の各種行事や祭り、清掃に参加しています。運営推進会議のメンバーからも交流を深める方法について多くの提案が出されています。地域のボランティアによる演奏会等も行われています。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「心寄り添う暮らしを目指します」「心穏やかに生活できる環境を創造します」「心安らぐ信頼のホームを実現します」を理念として掲げ、利用者が家族、職員、地域住民と共に安心してその人らしい生活を続けられるよう支えています。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は明文化し、ホーム内に掲示されています。毎月の全体会議や毎日の業務を通じて、管理者と職員は理念を共有し、介護サービスに反映させるよう話し合っています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	母体法人の代表者やホームの施設長はこの地域の出身者で、地域との交流や関わりは深くなっています。隣接する高齢者住宅の住民と双方の建物の間にある庭園やホームの行事に招待して交流をしています。地域の各種行事や祭り、清掃にも参加しています。運営推進会議のメンバーからも交流をより深める方法について多くの具体的な提案が出されています。地域のボランティアによる演奏会等も行われています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について改善が進み、全職員による全体会議を定例化し、預かり金の金銭出納帳に家族の確認の署名を貰うようになりました。利用者の排泄の自立化に向けての支援を、複数の担当を決め会議で進捗を確認しながら進めています。自己評価は、管理者と職員が話し合い、意見交換しながら完成させ、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は八尾市職員、地域の代表、家族、利用者の参加のもとで、3ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの運営状況、行事報告を説明し、職員の特記的な取り組みとして、利用者の個別ケアや排泄の自立化支援等について報告しています。地域の代表からは地域との交流をより深める方法について具体的な提案が出されています。	○	運営推進会議は充実した内容で実施されていますが、開催頻度について年6回、おおむね2ヶ月に1回とすることが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は八尾市の担当職員に相談をしたり、職員の訪問を受け入れたり、市が開催するグループホーム連絡会や講習会に参加し意見交換をしながら、サービスの質の向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項、新人職員の紹介、行事案内等を伝えています。利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。毎月利用者の生活ぶりや体調について職員が手書きの手紙を家族に送付しています。前回外部評価で示された金銭出納帳については定期的に家族の署名を貰っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時にできるだけ会話をし、家族が希望や願い、不満を表せるように対応しています。また意見箱も設置し、家族の意見が表せる機会を設けています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	転職による職員補充が続いたため、多少混乱はありましたが、ベテラン職員の頑張りで見守りによる利用者への影響は最小限に抑えることができています。	○	新人の採用にあたり、計画的な採用時研修の実施とその記録を残すことが求められます。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護技術や認知症、感染症、食中毒、緊急対応等について、外部研修や内部の勉強会で職員を育てる取り組みを積極的に進めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	八尾市が主催するグループホーム協議会で交流しています。施設長のネットワークで特定のグループホームと見学会や意見交換、ケース相談、職員研修等の交流を実施する予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には職員が施設や家庭を訪問したり、利用者や家族にホームへの来訪をしてもらって生活体験や行事参加をしてもらったりすることにより、馴染みの関係作りを行っています。家族や本人の不安を取り除き、安心して入居しサービスを提供できるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。裁縫の得意な利用者が職員や他の利用者とともに、食堂の椅子の座布団や居間の装飾タペストリーを作成し、その得意な能力を發揮しながら生き生きと活躍できるよう支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	朝、昼、夕方と一日3回の散歩を希望する利用者や、早朝4時頃起床して部屋の掃除をされる利用者あるいは、言語困難な方にはジェスチャー等に対応する等、利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望に沿いながら、生き生きと楽しく暮らせるよう支援しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式によるアセスメント情報や利用者の現在の暮らし、心身の状況を把握するとともに、医師や看護師の意見、利用者と家族の意向・願いを反映した介護計画を作成し、家族の同意も得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には3ヶ月毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行っています。ケアマネジャーは3ヶ月毎にモニタリングを行い、ケアカンファレンスを実施して介護計画の見直しにつなげています。個別ケアや排泄支援、感染症防止等を推進するため職員による検討会を立ち上げ、進捗状況を確認しながら実施しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	協力病院との連携により、利 用者の状態に必要な医療と 看護を行っています。必要に より通院介助も行っています。 地域の方々に対しても高齢者 介護についての相談に応じて います。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者は通常、協力病院の医 師による、医療を受けていま すが、診療科目によっては利 用者や家族の希望により、以 前からのかかりつけ医（医療 機関）で引き続き医療を受け ています。協力病院と連携し、 夜間や急変時の対応について の体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあ り方について、できるだけ早 い段階から本人や家族等なら びにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有 している	現在ホームでは看取りは行っ ていませんが、今後重度化が 進んだ場合には、看取りを行 うことを検討する予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。早起きが苦手な利用者には遅い時間でも朝食に対応し、希望があれば夜間の入浴をしてもらうなど、利用者一人ひとりのペースが保てるよう支援しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日食材業者から届けられる食材を使って職員が調理しています。利用者の希望により、メニューや調理方法を変更することもあります。買い物や食事準備、盛り付け、後片付け等に利用者も得意な分野で参加し楽しんでいます。職員は同じものを食べながら、利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しく和やかな雰囲気を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者は通常週に3回はゆっくり寛いだ入浴ができています。希望すれば毎日でも入浴することができます。また毎月に1週間の期間を設け「せせらぎ温泉」という名前でゆず湯や菖蒲湯等の季節感を味わえる入浴を楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。季節毎の花を育てることを得意としている利用者、裁縫が得意で座布団など縫われる利用者等、利用者一人ひとりが得意なことや役割、気晴らしを楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に買物や散歩に出かけるとともに、利用者の希望に応じてドライブに出かけたり、スーパー銭湯に出かけたり、久宝寺緑地で開催している植木市に出かけたりするなど、外出の支援をしています。季節の花見や初詣、大泉緑地への遠足や、大衆演劇にも出かけています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアやフロアードアとも日中の時間帯は鍵が開錠され、見守りだけで対応ができるようになっています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策として年1回の避難訓練を予定しています。食料と水の備蓄は実施されていません。	○	災害対策のマニュアルを定め、年2回の避難訓練をすることが求められます。非常・災害時のための食料品と水の備蓄について「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成し、備蓄をすることが求められます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事摂取量と水分摂取量を把握し記録をとっています。栄養バランスについては、食材業者の管理栄養士よりアドバイスを受けています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎に花を咲かせる立派な庭園に隣接している玄関の外まわりには花壇やプランターにも季節の花が植えられ、ホーム内には観葉植物や絵画、手作り作品が飾られ訪ねやすい雰囲気になっています。明るくて、広い開放感のあるリビング兼ダイニングルームは落ち着きを感じさせる共用空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	希望により畳を利用することもできる居室には、利用者がドレッサー、整理ダンス、ローボード、収納ケース、椅子、仏壇、装飾品、手作り作品、家族の写真等使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者一人ひとりが安心して過ごせる居場所になっています。		